

2025年度（令和7年度） 事業計画

社会福祉法人育木会
新川崎・学びの保育園

(1) 2025年度事業計画 7つのテーマと内容

1. 中長期計画の見直し・ブラッシュアップを園長・主任とともに行う

▶園長・主任・法人にてロング会議を行い、現場視点も盛り込み、見なおし・ブラッシュアップを図る

2. 理念のさらなる浸透と7つの学びプログラムの実効性を高めるためにインナーブランディングをさらに深めていく

▶昨年実施した成果をふりかえり、さらに各園ごとに理念浸透と価値創造を研修も活用し深める

3. 共主体の推進を概念ではなく個人レベルでの落とし込みを図る

▶共主体を個人の活動レベルに落とし込んでいくために、上記2と同様研修も活かして年間通じて行う

4. 事務局の支援の方向性を、全方位の現場支援から、現場の自立と本質性を重視した支援への変更をスタートさせる

▶よりWHY(なぜ)に焦点を当てた支援を重視し、支援の取捨選択や仕組み化を開始する

5. 園に関わる人達／子ども・保護者・地域社会・入職希望者・入園希望者などへの発信を継続して進化させていく

▶法人主導のインスタとGAKUGAKU CLUBの推進、園主導の発信の質を高めていく

6. 継続戦略の推進をしっかりと果たしていく

▶継続している中長期の重点戦略についても断続化しないように、継続運営を実現させていく

7. 法人の経営計画と各園の事業計画を園長会にて確認していく

▶経営計画や事業計画の進捗を園長会にて確認し、ふりかえりを重視する

(2) 2025年度事業計画の取り組み内容とスケジュール

戦略	具体的な取り組み内容とスケジュール
1. 中長期計画の見直し・ブラッシュアップ	▶8月末に園長・主任とのロングMtgを実施 ▶年内中に修正案を事務局や園長会にて検討 ▶1月の全園研修にて共有
2. インナーブランディングの進化と深化	▶5-6月にて各園で研修を実施 ▶9月の全園研修にて外部識者を活用し、客観的な視点を取り入れる ▶11-12月の全園混合の研修にてふりかえりを行う ▶1月の全園研修にて総括を行う
3. 共主体を個人レベルに落とし込む	▶各園インナーブランディング研修で個人のアクションプランを設定 ▶11-12月の全園混合の研修にてふりかえりを実施
4. 事務局の現場支援の方向性の変更	▶6月までに支援業務の洗い出し ▶年内中に一般化できる支援業務の仕組み化を実現 ▶仕組み化による支援パワーの創出を図り、重点支援の強化を進める
5. 関係者への発信の進化	▶7月に1年間のふりかえりを行い、8月には次なる方針を設計する ▶6月に各園の発信状況のふりかえり、7月に強化策を決定
6. 継続戦略の推進	▶是々非々で各事案のふりかえりと推進案を検討
7. 法人経営計画と事業計画のマネジメント	▶奇数月の園長会にて確認・ふりかえりを実施

学びの保育園保育ビジョン

▶大事にしたい保育

教えない保育／子どもの先回りをしない保育／子どもが主体性を身につける保育

＊主体性：物事に進んで取り組む力 主体性のある人：自身の判断によりやるべきことを見極め、目標に向かって効果的に行動できる人

▶大事にしたい保育の構造

個々の子どもの発達に合わせた子ども主体の体験学習型保育

▶大事にしたいねらいの背景

『子どもが自ら決める、子どもが自ら責任をもってやり切ろうとする、子どもが自ら気づく』

▶大事にしたい保育の姿勢

1. 保育のねらいを明確にする（一斉保育は、自由保育は、とかの枠組は取っ払う！）
2. 乳児も幼児も、ひとり一人をよく見て、気持ちは一旦受け止めてみる
3. 全てが学びの機会であると捉える
4. 子どもの成長を信じる
5. プロセスを重視する
6. 長短同根、長所に注目する
7. ポジティブストロークを大切にする
8. 肯定的に訊ねる
9. 命に直結するような危険には絶対的に対応する
10. 我々はファシリテーターであり、学びの7つのプログラムの推進者である

（３）2025年度各園 事業計画 （新川崎・学びの保育園）

「保育理念に沿った、今よりもっと『丁寧な保育』の追求」

① 語り合いをメインにした各会議の開催

「子どもが自ら決める、子どもが自ら責任をもってやり切ろうとする、子どもが自ら気づく」
ための声かけや見守り、環境構成や時間等の工夫

② キャリアパスを意識したマネジメント体制の確立

主任、副主任、各リーダーの活躍推進（年間計画や進捗管理の徹底）

職員も主体的に！ 自ら考え、発言・行動する、聴く・・・承認欲求、成長欲求を育む

③ 研修のふりかえり強化

研修レポートは書いて終わりではなく、職員に共有。後日再度ふりかえり、職員に共有。

（３）2025年度各園 事業計画 （新川崎・学びの保育園 年間研修予定）

- ・不適切保育防止研修（神奈川県）／全職員受講
- ・丁寧な保育とは
- ・どの程度見守る？待つ？
- ・危険予知トレーニング
- ・各クラスの発達に応じた環境構成やおもちゃ選び
- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿
- ・嘔吐処理
- ・救命救急（胸骨圧迫・AEDの操作・アクションカードの活用など）
- ・誤嚥対応
- ・ドキュメンテーション

(4) 年間研修予定(法人全体)

法人研修スケジュール(仮) 2025年4月～2026年3月

月	日	研修名	月	日	研修名
5	24	新川崎園インナーブランディング研修	11	4	6園交流理念研修
5	31	西巣鴨園インナーブランディング研修	11	13	6園交流理念研修
6	7	善行園インナーブランディング研修	11	18	6園交流理念研修
6	21	府中園インナーブランディング研修	11	27	6園交流理念研修
6	28	秋山園インナーブランディング研修	12	2	6園交流理念研修
7	5	薬園台園インナーブランディング研修	12	9	6園交流理念研修
7	11	看護師研修	12	12	主任・副主任研修
7	12	新入職研修	12	15	主任・副主任研修
8	23	調理室研修	1	17	全園研修
8	30	園長・主任研修	1	24	全園研修
9	8	全園研修9月	2	28	新入職研修